

労働保険事務

おまかせ下さい

(一社)大森工場協会
労働保険事務組合

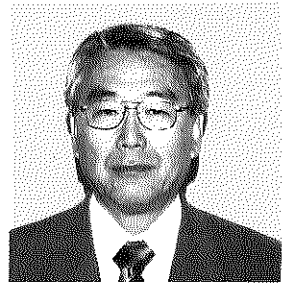
一般
社団
法人

大森工場協会会報

第72号

平成25年1月1日

発行 (一社)大森工場協会
編集委員会
東京都大田区中央2-11-10
TEL 03 (3771) 4744
印刷 城南印刷工業株式会社
TEL 03 (3752) 3391



年頭の辞

一般社団法人 大森工場協会会長
(株)昭和製作所 代表取締役

舟久保利明

新年明けましておめでとうござ
います。

大森工場協会会員各位におかれ
ましてはお元気で新年をお迎えの
こととお慶び申し上げます。

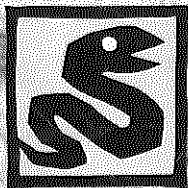
昨年我が国経済は、長らくデ
フレ経済下、「超円高」の長期化
や欧州債務危機に伴う欧州経済の
減速、加えて日中韓領有権に絡む
外交上の領土問題がクローズアッ
プし、内外需低迷の要因ともなり、
さらに米国による「財政の崖」不
安も重なり世界経済への負の連鎖

が懸念され、景気の足取りが一段
と怪しくなる気配の厳しい年でも
あったと言えましょう。

本年三月末においては二〇〇九
年十二月に施行されました中小企
業金融円滑化法が終了を迎えるが
企業再生への影響も少なからず現
れるであろうし、また法人税を含
め消費税アップに伴う問題や電力
料金引き上げ等においても中小企
業の経営圧迫につながる大きな要
因にもなるでしょう。経済成長鈍
化は先行き不透明な経済情勢を招

謹賀新年

平成二十五年元旦



き、益々わが国中小企業を取り囲
む経営環境を厳しい局面に導くも
のと懸念されるところです。

現在、大田区のもの作り業界で
は、仕事が激減し、大変な思いで
“会社の存続”に頭を痛めている
会社が多いことと思います。この
企業存続に関しては、最近では国
際規格ISO22301が認証の
対象としてクローズアップされて
います。その内容は自然災害対
処・社内の新陳代謝方策・関係す
る市場の常時監視・等々を想定す
ると言われています。

そもそもISOの認証とは、企
業が直接的・間接的に、国際的受
注を主たる目的としてかなりの費
用をかけて取得するものです。身
近なものとしては品質に関するI
SO9000、環境に関するISO
14000などがあり、皆さま
はどこかで聞いて知っていると思
います。

個人的見解を言うと、“認証”
は経費倒れになる場合が多いので
す。インシャルコストもばかにで
きませんが、ランニングコストも
結構な金額です。ISO取得は親
会社の要請で仕方なく受入れ、本
来の業務拡張には何ら効果がない
場合が多いと聞いています。

問題は、本当にISOの認証の
必要性がどこにあるかである。I
SO9000認証の会社は不具合
を起こさず、ISO14000認
証の会社は決して近隣に公害を出

さず、ISO22301の会社に
至っては倒産するはずのない会社
であるはずなのである。事実はその
精神とはかけ離れた状況ばかり
生じており、その有効性、有用性
を疑わざるを得ないわけなのです。

一般的に言って、ISOの精神
は重要であり、会社にとって有益
であることは言を俟ちません。会
社が一丸となって、その精神の理
解と実行に邁進するならば会社の
発展は疑いないわけです。

問題は、“ISOの精神”をどの
ように取得するかであって、認証
を取得することと混同している点
にあります。会社の命令で動く人間
は、それを“事務書類の増産”と皮
肉っぽく解釈しているようです。

結論からいって、ISOの精神
を勉強することはいかなる会社に
とっても重要なことであり、ISO
の精神を、形式でなく本質を獲
得することは今から始めても遅く
ありません。なにせ、常に不具合
を出さず、公害も抑える工夫を行
い、不慮の災害に備える会社は無
敵であるからです。

協会としても、リクエストがあ
れば、認証目的ではなく、自分の
会社のためにISOの精神を勉強
する機会を作ってもよいのではな
いかと思う次第です。

最後になりましたが、会員の皆
様のご健康を祈念申し上げ、年頭
のご挨拶に替えさせていただきます
ます。

謹んで年頭のご挨拶を申し上げます。

一般社団法人 大森工場協会

会長

舟久保利明

副会長

竹内栄多

木村洋一

森崎眞洋

丸山昌輝

理事

伊藤裕敏

柳沢重幸

渡辺美仁

関輝武

上田大輔

監事

平林孝博

神崎国雄

「物を作る」ところと 人を支える」ところ

主催 社団法人 大森工場協会



森の北文大
平成23年10月25日

会報第70号、71号と講師真言宗智山派、蜜養院須佐知行住職による「物を作る」ところ、人を支える」ところの講演内容について連載してまいりましたが今回で最後のとなりました。

木

喰上入行道は、江戸後期の遊行僧。晩年の五十六歳から九十三歳(一説には八十三歳)までの間、木食僧として千駄仏造像を発願して日本全国を廻国した。その残された多くの「微笑仏」は、庶民の信仰の中で生き続けている。また残されている七百首余りのユーモア・溢れ心打つ歌の数々は、「微笑仏」と共に親しまれている。

享保三年(一七一六)木喰上入行道は、甲斐国東河内領古閑、現在の身延町古閑丸畑で伊藤六兵衛の次男として出生。兄と弟の名は分かっているが、木喰の幼名は不詳である。十四歳で江戸に出ていくつかの職に就いたが、どの仕事も長続きせず、夢を叶えることもできずに、江戸での浪人生活が何年ともなく続いた。二十二歳の年になって、思うことあって相模の国の大山不動を詣でる旅に出た。参詣の際、真言僧に出会って感化を受け仏門に入ることとなった。

その後、関東一円を修行の場として広めていった中で、大山近くの淨発願寺を開山した百年も前の木食僧彈誓(一五七三〜一六一三)を心の師と仰ぎ、ますます日本廻国の思いを大きくしていったのである。

四十五歳にして、日本廻国修行の大願を起して、常陸国羅漢寺の観海上人の弟子となり木食戒を受け「行道」を名乗った。木食戒とは、五穀を断ち、木の実を食べて修行すること。

全国廻国の機を待っていた木喰に、その時が訪れたのは五十六歳の年であった。その廻国の木食行はその後九十三歳までの、実に三十七年間に及んだ。木喰はひとり庶民の信仰を支え、庶民の信仰に答え続けてきたことよって、彼の刻んだ「微笑仏」と「木喰自身」は信仰の対象となっているのである。

その日本廻国の第一歩は安永二年(一七七三)相模の伊勢原から始まった。廻国第一期は安永六年までの四年間、相模、江戸の諸寺から関東一円の寺々を巡り、坂東三十三観音霊場を巡錫(じゅんしゃく)した。安永六年七月、廻国を始めて初めて故郷丸畑に帰郷した。木喰はまだ彫像をしていない時代であった。故郷丸畑には両親はすでに亡く、短い滞在の後、奥州を目指し北へと向かった。

廻国第二期は安永六年から天明五年までの八年間の木食行であった。磐城、松島、中尊寺から下北半島の恐山へ、大間から津軽海峡を渡って、初めて蝦夷の地に弟子の白道と共に第一歩を印した。時に安永七年の六月のことであった。アイヌ民族の聖地にしん漁の北前船や弁財船が入り始め活況をみると、蝦夷の地にも松前藩が置かれることとなり、人と物資の往来が始まるとともに、疫病などの流行り病を原住民の間に蔓延させることとなった。江差、乙部、熊石、と海岸に沿って点在する村々を歩いて、いたるところで悲惨な光景を目にした。住民に病除けを乞われて、この地に初めて「木喰仏」を刻したのであった。

安永八年から九年にかけてこの地に天然痘の大流行があつて、三千人の住民の内の七百名が亡くなったとの記録が残っている。およそ二年の歳月、蝦夷の西海岸を歩き三十余鉢の「木喰仏」を、庶民の願いに答えて木喰上人は彫り続けた。この時期の木喰仏はまだ微笑をたやしてはいない。

その年の九月、木喰は弟子の白道と、蝦夷の地を離れ津軽海峡を渡って陸奥の田名部に着いた。奥州路を南下しつつ巡錫を重ねて、鹿沼の柵窪に辿り着いた。安永十年の二月には、白道といっしょに彫り終えた薬師三尊と十二神将の薬師堂での開眼を終えると、柵窪を後にして、一度江戸に戻った。その後中仙道を歩き北国街道を越後出雲崎へ出て、五月には佐渡へと渡ったのである。

このころの師彈誓が佐渡で修行していたのは六年、木喰行道も佐渡に留まること四年、彈誓縁りの檀特山に釈迦堂を、平沢に九品堂などを建て、各地で作仏に励み、施主に乞われるままに仏や神像を刻んだ。今も

二十数鉢の「木喰仏」が佐渡には残っている。よとし経てきよう立ちそ(背)むるさと嶋をいつてみるやのりのともし火と詠って佐渡を離れたのが天明五年(一七八五)の初夏の頃であった。

新潟に着いて、妙高から善光寺に入って、中仙道、甲州街道を経て、八年ぶりの兄甚五右衛門の待つ丸畑へ辿り着いたのは、秋の初めであった。木喰上人はすでに齢六十八歳になっていた。

僅か二週間ほど故郷で身体を休めた木喰上人は、また第三期の木食行に出たのであった。それは享和二年(一八〇二)までの十七年間に及ぶ長い遊行であった。丸畑を出て五十日ほど甲府に留まり葦崎へと向かった。途中、托鉢姿の甥に会い同行をうながして、茅野、諏訪に作仏を残して、天竜川に沿って下り木曾へ入った。伊那街道を三河、尾張一宮、下呂、高山へと北上して立山に登り富山に出た。

能登半島の付け根の石動山に籠もり、各霊地を巡り金沢へと入る。山中温泉の温泉で身体を癒し那谷寺、医王寺を拝し越前の永平寺へと向かった。敦賀から南へと下り、彦根、蒲生、津を経て伊勢路となった。紀州和歌山から高野山、泉州大阪、丹波から大和奈良東大寺、吉野から一路明石に出た。西国三十三観音の諸寺の巡拝も無事に済ませて、備前、備中を巡り倉敷の下津井港から瀬戸内海を渡って四国丸亀に入ったのである。

四国に上がり、多度津の第七十七番札所道隆寺から八十八カ所霊場を逆打ちで讃岐、阿波、伊予、土佐を巡拝した。その年の十月には淡路島を回った。また高松市に戻り翌年の天明八年(一七八八)円蔵院に閻魔大王像を刻した。三月に八幡浜から九州の豊後佐賀関に渡るまでのおよそ十か月をかけて、木喰は四国路の千四百キロを踏破した。その時すでに木喰上人は七十歳を過ぎていた。四国に残っている木喰仏は六鉢と少ない。四国遍路は弘法大師への道である。四国八十八カ所巡拝に全生命を費やしてしまつたのだろうか。そこに「弘法大師像」が一鉢も見つかっていない。なんとも不思議なことである。

佐賀関から始まった九州巡錫は実に九年にも及んだ。縁あって日向国分寺では乞われて住職を勤めることとなるが、住職拜命後数年して寛政三年(一七九二)、火災により本堂伽藍を消失する災難に遭うが、三年の歳月をかけて国分寺を再建させた。寛政六年のこの年から諸仏の背銘の墨書の年齢が十歳加算されている。

ご本尊丈六の五智如来の開眼供養の法要を勤め終えると、この淨行を支えた九州一円の木喰の信者の懇願を振り切るように、離れがたき国分寺に歌を残して、また木食行の遊行へとひとり旅立った。

朝日さすその日に向かう国分寺
国安のんを守れ五智山
寛政七年(一七九五)七十八歳になっていた木喰上人は、国分寺を後にして鹿兒島、熊本、長崎、佐賀を巡錫して、熊本の一カ寺、長崎の二カ寺に木喰仏を残していった。一度南下して日向、阿蘇、延岡、大分を歩き小倉に漸く辿り着いた。九年にも及ぶ九州での長き苦難の日々を振り返るように関門海峡を渡って、山口の赤馬関(下関)に着いたのが寛政九年の六月、木喰上人は八十歳になっていた。

美祿、福栄、田万川、山口、宇部、防府と巡錫を続けた。萩市福栄村の願行寺には、樞の大樹の洞(うら)に彫られた立木薬師如来像が今も生き続け、村人の篤い信仰を享けている。中国山脈を日本海側に渡って、三隅、出雲大社、鳥取まで足を運び、美作を通り再び瀬戸内に戻り、美原、広島と山陽路を周防三田尻まできた。二年に満たない中国地方の巡錫であったが、山口の各所に凡そ五十余鉢を残して、遠崎より瀬戸内海を渡った。

愛媛の三津浜に上がった木喰上人は、二度目の四国巡拝を今度は順打ちで巡錫した。なぜ何年も経っていないのに、また再び順拝に出たのかその動機は分からない。五カ月をかけた順拝を終えると、三津浜から海路大阪へと向かった。

大阪から東海道を東に、大津、四日市、豊橋、掛川、静岡の興津まで来て、身延の久遠寺を目指した。愛知には六鉢、静岡には五十余鉢も木喰仏を残した。寛政十二年(一八〇〇)十月、十五年ぶりの故郷丸畑への帰郷であった。

翌年の正月に生家の裏手に、四国堂の建立を発願し、堂内に納める八十八鉢の作像にとりかかった。享和二年(一八〇二)の二月には、八十八鉢の像の開眼と四国堂の落慶法要が営まれた。四国堂の発願の成就なるや、三月には丸畑を發つて最後の日本廻国の巡錫に出たのであった。木喰上人はすでに八十五歳になっていた。廻国第四期は、享和二年から文化七年(一八一〇)の木喰上人入寂の六月五日までの八年間である。一路目指していたのは、心の師と仰ぐ彈誓が六年の間修業した寺、光明仏のあった佐渡の地であった。この寺は遊行僧の修業道場であったが、木喰上人が訪れた時にはすでに焼失していた。天明五年佐渡を後にした木喰上人は、再建のための佐渡再訪を誓っていたに違いない。

中仙道で群馬へ出て、三国峠を越えて越後に入った。佐渡への再訪は叶えられず、八十八歳の十月まで長岡、柏崎、魚沼の各地を巡錫した。越後に残る木喰仏は二百五十鉢、木喰上人の故郷甲州の凡そ十倍の数である。

長逗留をさせてもらった長岡上前島の青柳家では、当主の(興清)清右衛門が近くの金比羅堂に納める秩父三十四観音像の作像を手伝った後、木喰上人を慕い、別れが忍びがたく、そのまま木喰上人について木喰行に出てしまったという。二人は雪解けを待って京へと向かった。

文化三年の春、越後路から信濃路を歩き諏訪に入った。京の仁和寺、丹波の清願寺を巡錫し撰津の猪名川の東光寺に辿り着いた。京からの帰路二人は信州諏訪に向かい、そこで

興清は木喰上人と分かれて上前島の家へと帰った。木喰上人は興清に木喰仏や版木などを託した。その全てが今も青柳家に残っている。諏訪で偶然にも甥の僧に出会い、木喰上人は老いの身を案じてくれた甥と行をともしることとなった。

文化五年(一八〇八)四月、木喰上人最後の作仏、七観音像を甲府の教安寺に残し、その後の消息は跡絶えた。その最後の七観音像は惜しくも今次の大戦で焼失してしまった。

文化七年六月五日の命日と円寂 木喰五行明満聖人 品位と記された紙位牌だけが残った。「終焉の場所は絶対に明かすべからず」

甥は木喰上人の遺言を守って、紙位牌と笈箱の遺品を生家に届けただけだった。

まるまるとまるまるめよわが心 まん丸丸く丸くまん丸
みな人の心をまるくまんまるに どこもかしこも丸くまん丸
わが心にごせばにぐるすめばすむ すむもにぐるも心なりけり
六道は心の内とおもうべし かえすがえすも慈悲と善根
皆人の心に咲きし白蓮華 花は散りても種は残らむ
ぬすびともかしたるものをとるならば 利そくをそえてとれよぬすびと
のちの世のたねをまきおく皆人の 心はすぐにぼさつなりけり
人はだまことの道にこんつきて 諸人愛敬福智円満
木喰も世にすてられて身をすつる 心すつればしび(至微)となりけり
木喰のけさや衣はやぶれても まだ本願はやぶれさりけり

ぞうきん

須佐 知行

いつも黙々と働いている
誰でも仲良く働いている
ほこりや汚れを
体にいっぱいつけられても
洗い流してさっぱりとした顔をしている
愚痴などひどいことも聞いたことがない
自分のためだとか人のためだとか
仕事の価値など一度も考えたことがない
跪いてぞうきんをかける
四つん這いになって廊下を走る
昨日も今日もまた明日も

資料 密乗院住職 須佐知行

50歳の節目に

(株)渡辺精機

代表取締役 渡辺 穰



8月で50歳になり、ヤングからシニアに移行したところです。
私が入社した当時1984年はバブル景気の幕開けで、1月9日、日経平均株価が初めて一千万円の大台を突破した年でした。
11月1日には新紙幣発行、聖徳太子から福沢諭吉に代わったのも、この年です。

しかし、あれから28年、景気は後退し日経平均株価は8900円、デフレスパイラルから脱却できずに国の借金は増え続けるといふ、想像もできない現実になってしまった。

28年間なにをやってきたのだろうか？

2012年度末、国の債務残高1085兆円になるといふ。1984年度末は121兆円、実に28年間で9倍に借金が膨れ上がった。

政治家は何をやってきたんだ？ここまで手をつけなかったのは誰の責任なんだ？誰が返済して行くんだ？

政治家が決めたことは国民が守る、国が決めたことは法律として守る義務がある。

しかし、そうだと行って進んで税金納めるひとはどれ位いるだろう。

国民が納得して納税する社会に代えていかなければ成り立たなくなる。

本当に日本を良くしようと思っっている政治家はどれくらいいるのだろうか？

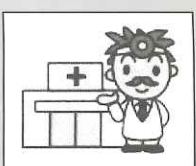
□先よりも体を張ってほしいと思う。
同じ28年間、はたして製造業はどうだろうか。円高が70円台で推移している今、輸出で厳しい会社ほとんどではないか。

政治に頼ったところで会社は強くなれない。これから自社の技術を研ぎ海外から必要とされる物を作る。

私はこれが一番だと思う。
今後は後継者の育成と共に、若さを保ち、YMGクラブの活動に励みたい。

事業主の皆様へ

労働保険事務組合をご存じですか？



「労働保険料の徴収等に関する法律」に基づき、厚生労働大臣が認可した団体で、本来事業主が実施すべき労働保険事務(雇用保険・労災保険)を、事業主にかわって行なうことができる団体のことを言います。

当(一社)大森工場協会もこの制度の認可を受け、協会の一大事業として、会員各位の経営管理の一翼を担っております。

労働保険事務組合に委託できる事務は

雇用保険・労災保険の加入手続きから、労働者を雇用した場合の届出や、労働者が離職した場合の届出、その他保険料の納入に至るまで、労働保険全般にわたり事業主にかわって手続きします。

その主要なものは、次のとおりです。

- ①概算保険料、増加概算保険料、確定保険料の申告、納付
- ②保険関係成立届(雇用保険・労災保険の加入)、任意加入の申請手続き
- ③労災保険の特別加入申請・変更・脱退等の手続き
- ④雇用保険の被保険者に関する届出等の提出手続き
- ⑤その他、労働保険の適用徴収に関する申請、届出及び報告等の手続き

労働保険事務組合に委託するには

至って簡単、当事務組合に申し出てください、「労働保険事務委託書」に記入していただくだけで、委託手続きは終了です。

労働保険事務組合に委託した場合のメリットは

- ① 煩わしい事務処理が不要になり、事業主の事務負担が軽減されます。また、委託料も低く設定されているので経費負担も節減できます。(概算保険料額の5.5%)
- ② 労災保険に加入することがきかない、事業主や会社役員、家族従業員等も特別に加入することができます。(月額最高60万円の労災補償)
- ③ 労働保険料は、金額の多少にかかわらず、年3回に分けて納入することができます。

お申し込み相談窓口

労働保険のことなら、何でも!
(一社)大森工場協会 労働保険事務組合へ
TEL 03-3771-4744 FAX 03-3772-9340

<p>* モーター用ブラシ、精密切断用カーボンマウント *</p> <p>三光カーボン株式会社 代表取締役 森崎 眞洋 大田区大森西 2-18-5 TEL. (3763) 9131(代) FAX. (3766) 5441</p>	<p>* 銅合金鋳物製造業 *</p> <p>有限会社 神崎鋳工所 代表取締役 神崎 国雄 大田区大森中 1-19-7 TEL. (3761) 4595 FAX. (3764) 9770 E-mail: kan-cast@galaxy.ocn.ne.jp</p>	<p>* 自動車タイヤゲージ製造販売 *</p> <p>旭産業株式会社 代表取締役社長 山田 浩範 大田区池上 1-22-13 TEL. (3751) 6124 FAX. (3754) 4343</p>	
<p>* 消防用設備設計・施工・点検 *</p> <p>三進防災株式会社 代表取締役 吉野 薫 大田区大森北 1-26-9 TEL. (3765) 7238 FAX. (3762) 8158</p>	<p>* プラスチック用精密金型 * 設計・製作・修理改造 焼入型経験豊富</p> <p>株式会社 木村製作所 代表取締役 谷口 敏子 大田区大森西 2-15-22 TEL. (3761) 8403 FAX. (3762) 7367</p>	<p>* 空間を活かし、価値を創造する！ * お客様のニーズを、アイデアをかたちに！</p> <p>株式会社 旭製作所 代表取締役 丸山 昌輝 〒143-0015 大田区大森西 1-19-9 TEL. (3763) 1741 FAX. (3763) 1743 E-mail: mer-maru@asahi-ss.co.jp URL: www.asahi-ss.co.jp</p>	
<p>* 食品機械製造販売 *</p> <p>サンフード機販株式会社 代表取締役 朝日 利安 大田区大森中 1-20-20 TEL. (3764) 0345(代)</p>	<p>* 油圧機器部品 *</p> <p>株式会社 久我製作所 代表取締役 久我 洋子 大田区大森東 2-19-18 TEL. (3763) 7601(代) FAX. (3761) 4270 E-mail: kugaseisakusho@voice.ocn.jp</p>	<p>* 各種電気鍍金加工・地球儀製作 *</p> <p>株式会社 池田車輻製作所 代表取締役 池田 潤一 大田区京浜島 2-2-5 TEL. (3790) 2222 FAX. (3799) 3399</p>	
<p>* 工業計器及び工業計器部品の製造販売 *</p> <p>株式会社 山陽計器製作所 代表取締役 山田 健嗣 大田区大森北 6-19-21 TEL. (3765) 7481 FAX. (3768) 1930</p>	<div style="text-align: center;">  <p style="font-size: 2em; font-weight: bold;">謹んで新春のお慶びを申し上げます</p> <p style="font-size: 1.5em; font-weight: bold;">平成二十五年元旦</p> </div>		<p>* 精密機械設計、製作・一般部品 *</p> <p>有限会社 伊藤機工 代表取締役 伊藤 豊 大田区大森西 1-19-10 TEL. (3766) 3250 FAX. (3768) 4909</p>
<p>* 金属機械加工、ビデオ・オーディオリール * ISO9001・14001認証取得</p> <p>三力工業株式会社 代表取締役社長 入澤 英明 大田区大森中 2-7-6 TEL. (3763) 8411(代) FAX. (3763) 8415 E-mail: eclipse@sanriki.com URL: http://www.sanriki.com</p>			<p>* 計測制御システム *</p> <p>有限会社 宇根元工作所 代表取締役 宇根元 敬 大田区大森西 4-9-10 TEL. (3763) 2531(代)</p>
<p>* 機械部品一般・ネジ加工 *</p> <p>有限会社 茂根製作所 代表取締役 大崎 隆久 大田区中央 2-22-18 TEL. (3771) 8321 FAX. (3771) 8367</p>			<p>* 軟質プラスチック・キャップ&コーティング * 防錆・防食・防塵・保護に最適！ご相談下さい</p> <p>株式会社 エポゾール 代表取締役 吉田 利樹 大田区東糀谷 6-4-17 TEL. (3745) 2651 FAX. (3745) 1580 URL: http://homepage3.nifty.com/epsol/</p>
<p>* 各種印刷、ホームページ作成 *</p> <p>城南印刷工芸株式会社 代表取締役 山岸 政弘 大田区中央 8-5-1 TEL. (3752) 3391 FAX. (3754) 1729</p>			<p>* ガス・水道配管工事用特殊工具・装置の開発・製造・販売 * ISO9001・14001認証取得</p> <p>オオサキ 大肯精密株式会社 代表取締役 大崎 和夫 大田区仲池上 2-19-6 TEL. (3755) 3311 (大代表) FAX. (3755) 1918 営業所 (東北・関東・東海・関西・九州)</p>
<p>JonanMurata paper & package</p> <p>株式会社 城南村田 代表取締役 青沼 隆宏 〒144-0053 東京都大田区蒲田本町 1-9-7 TEL: 03-5744-3555(代) FAX: 03-3744-3557 URL: www.jonan-murata.jp</p>			<p>* 鉄道車輛部品製作販売 *</p> <p>株式会社 窪田製作所 代表取締役 岩掘 隆 大田区大森本町 1-10-7 TEL. (3765) 7301 FAX. (3765) 7370</p>
<p>* 各種非破壊検査用試験片・各種材料試験用試験片 *</p> <p>株式会社 昭和製作所 代表取締役 舟久保 利明 大田区大森西 2-15-15 TEL. (3764) 1621(代) FAX. (3764) 1626 URL: http://www.showa-ss.jp E-mail: funakubo@showa-ss.jp</p>	<p>* 精密スプリング製造 *</p> <p>小松ばね工業株式会社 代表取締役 小松 節子 大田区大森南 5-3-18 TEL. (3743) 0231(代) FAX. (3743) 0235 URL: http://www.komatsubane.com</p>	<p>* 精密機械・重量物輸送・物流コンサルティング *</p> <p>株式会社 オフィス・フロンティア 代表取締役 伊藤 和弘 大田区大森北 4-7-1 守屋ビル203 TEL. (3761) 9900 e-mail: info@office-frontier.co.jp 物流・輸送のお悩みは弊社へご相談下さい</p>	
<p>* 総型省力化切削工具・加工製作・コーティング * ドリル・エンドミルカッター等研磨</p> <p>大志技研株式会社 代表取締役 斉藤 勝 本社: 大田区大森西 1-19-15 TEL. (3762) 4351 FAX. (3767) 0280 千歳工場: 千歳市流通1丁目2-5 TEL. 0123 (40) 6181 FAX. 0123 (40) 6184</p>	<p>* 高級焼付塗装・パーカーライジング *</p> <p>有限会社 さつま塗装工業所 代表取締役 辻 四郎 大田区大森東 4-31-3 TEL. (3761) 6014(代) FAX. (3761) 6005</p>	<p>* 工業用バグバンド製造 * フォークリフト用バッテリー再生</p> <p>有限会社 川村製作所 代表取締役 川村 有史 大田区大森東 4-22-4 TEL. (3761) 4541 FAX. (3766) 3541 E-mail: kawamura@am.wakwak.com</p>	

堀越精機株式会社
 代表取締役 堀越 秀昭
 〒143-0015 大田区大森西1-16-1 TEL. (3761) 5533
 FAX. (3763) 7821
 E-mail: hideaki@horikoshi-seiki.co.jp
 URL: http://www.horikoshi-seiki.co.jp

トキワ精機株式会社
 代表取締役社長 木村 洋一
 大田区大森東 2-14-12 TEL. (3762) 5511(代)
 FAX. (3763) 9144
 E-mail: t-post@tokiwa-seiki.com

株式会社 大成
 代表取締役 石倉 政雄
 大田区京浜島 2-3-15 TEL. (3790) 4611
 FAX. (3790) 4618
 E-mail: keihin-office@taisei-ts.co.jp

丸進製作所
 代表取締役 菅野 照夫
 大田区西六郷 2-45-11 TEL. (3736) 5693
 FAX. (3736) 5688

都南電機株式会社
 代表取締役 加賀 昇二郎
 大田区大森西 1-9-5 TEL. (3763) 1331(代)
 FAX. (3763) 1671

高橋酸素工業所
 代表取締役 高橋 勇司
 大田区大森南 3-15-12 TEL. (3744) 5545

三ッ木建設工業株式会社
 取締役会長 石井 美行
 代表取締役 石井 潤
 大田区山王 3-27-5 TEL. (3772) 7101 FAX. (3772) 7105
 URL: http://www.mitsugikensetsu.co.jp/

株式会社 平川製作所
 代表取締役 柳 沢 重次郎
 大田区大森西 2-17-14 TEL. (3764) 1388
 FAX. (3768) 1939
 URL: http://www.hirakawa-ss.co.jp/

田中金網製作所
 代表取締役 田中 正一
 大田区中央 3-12-7 TEL. (3775) 7979
 FAX. (3775) 6062

美濃製作所
 代表取締役 穂波 美夫
 大田区京浜島 2-18-1 TEL. (3790) 2531(代)
 FAX. (3799) 0750

謹んで新春のお慶びを申し上げます
 平成二十五年元旦

堤工業株式会社
 代表取締役 栗原 良一
 大田区池上 5-8-20 TEL. (3752) 2347(代)
 FAX. (3755) 8295
 E-mail: info@2-2-3.com
 http://www.2-2-3.com

株式会社 村田精機製作所
 代表取締役 村田 忠夫
 大森南工場 〒143-0013 大田区大森南 2-5-8
 TEL. (3745) 2161 TEL. 050(5540) 6256 FAX. (3743) 8144
 本社工場 〒144-0032 大田区北糀谷1-1-5
 TEL. 050(5540) 6257 FAX. (3745) 2169
 森ヶ崎工場 〒143-0013 大田区大森南5-6-2
 TEL. (5913) 9631 FAX. (5913) 9632
 E-mail: murataseiki.ss@mx2.ttcn.ne.jp

株式会社 津々巳電機
 代表取締役 和田 紘司
 大田区大森西 4-14-16 TEL. 03(3766) 5311(代)
 FAX. 03(3766) 4480
 URL: http://www.tsutsumi-elec.co.jp

矢澤製作所
 代表取締役 矢澤 靖興
 大田区大森北 3-32-29 TEL. (3761) 2537
 FAX. (3762) 1870

ティヴィバルブ株式会社
 代表取締役 竹内 栄多
 大田区大森東 4-33-8 TEL. (3763) 4311(代)
 FAX. (3763) 4317
 URL: http://www.tv-valve.com/
 E-mail: hidekazu.takeuchi@tv-valve.com

安田病院
 院長 安田 雄一郎
 大田区大森北 1-11-18 TEL. (3761) 1023

東京金属工業株式会社
 代表取締役 中島 英夫
 大田区京浜島 2-13-10 TEL. (3790) 2929
 FAX. (3790) 2888
 URL: http://www.tokyo-kinzoku.co.jp/
 E-mail: h.nakajima@tokyo-kinzoku.co.jp

山形製作所
 代表取締役 小林 忠
 大田区大森西 1-17-28 TEL. (3768) 1166
 FAX. (3765) 0589

平林製作所
 代表取締役 平林 孝博
 大田区大森東 2-26-25 TEL. (3761) 1150
 FAX. (3761) 1029

東京ネームプレート株式会社
 代表取締役社長 斎藤 勝治
 大田区大森東 4-34-14 TEL. (3764) 3611(代)
 FAX. (3764) 3614

吉田金属製作所
 代表取締役 大宮 光太郎
 大田区京浜島 2-12-20 TEL. (3790) 1191
 FAX. (3790) 1196

深尾精機株式会社
 代表取締役 中井 富士夫
 大田区大森中 3-20-18 TEL. (3766) 1100(代)
 FAX. (3767) 1425

東京メートル株式会社
 代表取締役 上杉 信雄
 大田区大森東 2-1-7 TEL. (3761) 4505

株式会社 吉野電機
 代表取締役社長 吉野 隆重
 大田区大森西 2-15-24 TEL. (3761) 4923
 FAX. (3766) 6089
 茅野工場 長野県茅野市湖東3912
 長峰工場 長野県茅野市宮川11100

フジミ
 代表取締役 井上 和彦
 大田区大森南 3-11-11 TEL. (3742) 4435~6
 FAX. (3744) 3636
 E-mail: yu-fujimi@mrj.biglobe.ne.jp

東蒲機器製作所
 代表取締役 高橋 直一
 本社工場: 〒144-0031 大田区東蒲田 1-13-10
 TEL. (3731) 7056 FAX. (3735)3477
 新潟工場: 〒953-0054 新潟市西蒲区漆山8571-1
 TEL. 0256(72)1316 FAX. 0256(72)1327
 E-mail: nt-can@waltz.plala.or.jp

*** 共済保険 ***

財団法人 **全国中小企業共済財団 (全共済)**

理事長 渡 邊 信 夫

千代田区平河町 1-4-12 TEL. (3264) 1511(代)
FAX. (3239) 1978
http://www.zenkyosai.or.jp

安い掛金で広範な保障

病気死亡・障害 災害障害
災害死亡・障害 災害入院

*** HACCP高度化基準認定工場 ***

都南工業給食協同組合

理事長 竹 内 榮 多
〒144-0045 大田区南六郷 3-15-1
TEL. (3732) 7451 (代)
FAX. (3735) 8376
URL: http://www.tonanq.com

営業品目

定食弁当 学校弁当・幼稚園弁当
特別弁当 委託給食
折詰弁当 出張料理
オードブル

ご予算に応じ各種調製と季節により材料の調製をいたします。

*** 精密機械部品加工 ***

株式会社 **ワタナベ**

代表取締役 渡 邊 正 成
大田区大森中 3-8-23 TEL. (3761) 0303
FAX. (3761) 0645

*** 極細物の精密 NC 加工及び MC・研削加工 ***

株式会社 **渡 辺 精 機**

代表取締役 渡 辺 稜

本 社 大田区大森西 2-9-6 TEL. (3761) 7535(代)
FAX. (3761) 6450
第二工場 大田区萩中 3-14-17 TEL. (5735) 7511(代)
FAX. (5735) 7512
E-mail: iyy@watanabeseiki

*** 総合火災共済・自動車総合共済 ***

とうきょう共済

東京都火災共済協同組合
東京都中小企業共済協同組合

理事長 飯 島 玲 光

中央区銀座 2-10-18 東京都中小企業会館 2 階
TEL. (3542) 0271
FAX. (3545) 8606
http://www.tokyo-kyosai.or.jp/

営利を目的としない
中小企業者のための共済組織です

謹んで新春のお慶びを申し上げます

平成二十五年 元旦

*** 個人・グループ・団体様 大歓迎の『旅行屋』です! ***
★昨年6月に中央から山王へ引っ越しました★

東京インテックス株式会社

東京都知事登録旅行業 第2-3046号
代表取締役 久保木 美帆
〒143-0023 東京都大田区山王3-11-6
TEL. 03 (3773) 1321 FAX. 03 (3778) 3376
E-mail: mk-intex@fj9.so-net.ne.jp

あいおいニッセイ同和

しいのやすし
椎 野 泰 史

〒143-0024 大田区中央2-11-10 大森工業会館 4 階
携 帯 090-2528-9078
TEL 03-5718-2911
FAX 03-5718-2912
ロードサービス 0120-024-024

*** ISO取得や管理システムのお手伝い ***

K S コンサルタント

代表 金 澤 暎

川崎市中原区今井南町 430 TEL/FAX 044(722) 1820
E-mail: ekanazawa@mx1.ttcn.ne.jp

「とうきょう共済」の火災共済・自動車共済 ご加入のご案内

協会では会員に対する福利事業として、とうきょう共済の代理所となって火災共済保険と自動車総合共済保険への加入をお勧めしております。平成23年度末現在の火災共済の加入状況は、86件、26億9,090万円の加入をいただいております。皆様すでにご承知いただいているところですが、「とうきょう共済」は、他の損保の保険等とは異なり、中小企業のみを対象として、共済の観点からも利益の追求を目的としない仕組みとなっております。

とうきょう共済の担当者として協会が一体となって、サポートをしています。是非ご検討をいただくよう、よろしくお願い申し上げます。

火災共済

- 1. 非営利団体のため安い掛金**
一般の火災保険に比べスリムな掛金の為、経費節減が出来ます!! ※条件により異なる場合があります。
- 2. 剰余金を還元**
決算の結果、剰余金が生じ、その契約が無事故の場合、利用分量配当で還元致します。
(平成23年度5%配当割戻し!)
- 3. 万一のときも、共済金の支払いは迅速かつ有利**
※事故の内容により、お時間を頂く場合があります。
- 4. 協会が窓口(代理所)ですので安心**
中小企業者専門の都内唯一の共済組織です。

自動車総合共済

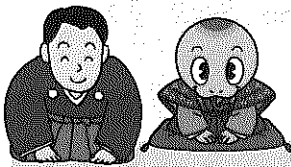
- 1. 国内損保よりも掛金が安く経費の削減**
※条件により異なる場合があります。
- 2. 自動車保険の無事故割引はそのまま継承**
- 3. 各種お得な割引**
- 4. 早くて親身な事故処理サービス**
★万一の事故の場合、事故処理の専門家が迅速に相手と対応します。
★加害事故では最後まで示談交渉を行います。また、被害を受けた事故の場合は、解決へのアドバイスを致します。
- 5. 特別の見舞金制度**
(対物事故で3万円以下支払いは、翌年の掛金は上がりません。)

(元受 全国中小企業共済協同組合連合会)

とうきょう共済

東京都火災共済協同組合
東京都中小企業共済協同組合

〒104-0061 東京都中央区銀座2丁目10-18
東京都中小企業会館 2 階
TEL 03(3542)0271
FAX 03(3545)8606
URL http://www.tokyo-kyosai.or.jp/



平成25年 新年賀詞交歓会のご案内

新春の候 皆様にはますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

平素は協会運営に対しまして格別のご支援ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨今、中小企業を取り巻く経営環境は厳しさを増しており、製造業においては、欧州危機等の影響もあり海外経済の減速、長引く円高、競争の激化などの逆風にさらされています。

さらに日中関係の悪化、それに伴う反日感情の高揚による日本製品の不買運動、輸出入貿易に大きなダメージを与えています。今後、中小企業はどのようにして世界経済に立ち向かっていくのか、果たしてその秘めたる能力は！！

そのような意味を探るべく協会恒例賀詞交歓会において、政策研究大学院大学名誉教授橋本久義先生による新春講演会を企画いたしました。年頭の折皆様にはご多忙のことと存じますが、万障お繰り合わせの上多数ご参加賜りますようご案内申し上げます。

開催日時 平成 25年 1月 24 日 (木)

午後6時30分開演

参加費 6,000円 (ご同伴者 3,000円)
当日会場にて申し受けます。

その他 カプセルクイズには豪華賞品を準備しております。

会場 大田文化の森 5階 多目的室

プログラム 第一部 新春講演会

講師 政策研究大学院大学 名誉教授

橋本久義先生

演題 臥龍経済日本の中小企業の行方

・・・チャイナ・プラスワン？ そりゃ日本だろ！

第二部 懇親パーティー

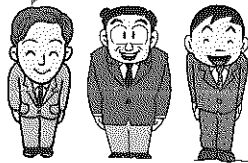
講師プロフィール

1945年福井県生まれ 1969年東京大学工学部精密機械工学科卒業後通産省に入省

通産省時代から「現場に近いところで行政を！学問を！」をモットーに、数多くの中小企業の現場を訪れて経営者や技術者の生の声を取材し、その研究により経営者に未来への希望を託す経営指導のスペシャリストとして有名。

現在は、政策研究大学院大学で発展途上国の産業発展、中小企業の活性化をメインテーマに取り組み、「日本の中小企業は世界最強」、「中小企業は日本のまごころ、世界の宝」と説き、行政・学界には珍しい現実主義者として独自の経営理論に注目が集まっている。

わが社紹介

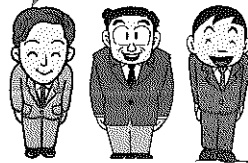


(株)昭和製作所

り、現場を中心として苦労は絶えませんが、最先端の研究開発のお手伝いをさせていただくこの仕事は、大変やりがいのあるものです。近年、社会・経済環境が世界中で急激に変化を続けている中、その変化に迅速に対応し、お客様のご希望に添えるよう、またそれ以上の感動を感じていただけるよう、古き良き伝統を守りながら、時代に合わせてドラスティックな改革を行い、今後も発展し続けたいと思っております。二〇一三年一月からは、現弊社第二工場に手を加え、本社の移転を行い、生産環境や労働環境の改善をいたします。また、近江商人の三方よし（売り手よし、買い手よし、世間よし）の考えを会社理念の中核とし、関係される方々全てとWinWinの関係を構築できるように最大努力で業務に励んで参ります。今後ともご愛顧のほどよろしくお願い申し上げます。

(株)昭和製作所 代表取締役副社長 舟久保 利和

わが社紹介



(株)上田製作所

某自動車メーカーの一次サプライヤーとして日々QCDの向上に向けて頑張っております。しかしながら、今の時代はどの業種も同じと思いますが、お客様は「QDは守って当たり前、Cについては更に努力を。」と言うスタンスになってきています。時代の流れ、変化に対応できない企業は生き残れない昨今、常にお客様が求めていることに対して、まずは出来る限りの対応をする。その先は自らがお客様に満足いただける提案をしていくことができる企業を目指して更なる努力をしていく。そうしないと、海外の同業種の企業に負けてしまうことになりかねません。日本の製造業のほんの一部ですが、担っている企業としてこれからも頑張っていきたいと考えております。

大田区、東京都、日本全国と横の繋がりを強化し海外勢に立ち向かっていきたいと思います。

社名・株式会社上田製作所
代表取締役社長・上田大輔
創立・昭和二十年十月 設立・昭和二十八年七月
業種・輸送用機械器具製造業

当社の主事業は商用車（トラック）用金属加工製品及び電装品（スイッチ）です。

(株)上田製作所 代表取締役社長 上田 大輔

平成24年度 永年勤続優良従業員表彰のご紹介



各事業所において、長年に亘り企業の発展に努力し、貢献された方々を顕彰する平成二十四年度永年勤続優良従業員表彰者が選出されました。

この表彰は大田区長表彰(勤続十五年)、大田工業連合会会長表彰(勤続二十年)、大森工場協会会長表彰(勤続五年)の区分により、各事業所から申請いただいたものを関係機関に推薦し、そこで審査を経て表彰される大変名誉な表彰であります。

今年度は、大田区長表彰に三事業所三名、大田工業連合会会長表彰に一事業所一名、大森工場協会会長表彰に四事業所九名が該当し、それぞれ表彰状と記念品が授与されました。

受賞された方々に改めて祝意を表するとともに、今後益々のご活躍を祈念するものであります。

○大田区長表彰 (満15年勤続) (敬称略)

事業所名	氏名	事業所名	氏名
1 (株)本州機器製造所	高倉 稔	3 (株)カネダ技研	中島 明夫
2 堤工業(株)	斉藤 貢		

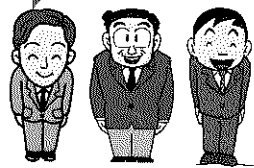
○大田工業連合会会長表彰 (満20年以上勤続)

事業所名	氏名
1 (株)本州機器製造所	吉元 明光

○大森工場協会会長表彰 (満5年勤続)

事業所名	氏名	事業所名	氏名
1 (株)昭和製作所	藤野 拓哉	3 トキワ精機(株)	矢向 光男
2 トキワ精機(株)	名倉 信一	4 トキワ精機(株)	芦澤 正一
		5 トキワ精機(株)	室橋 静子
		6 (株)カネダ技研	小林 龍生
		7 (株)カネダ技研	平栗 邦光
		8 (株)カネダ技研	中山 昇二
		9 堤工業(株)	村岡 和彦

わが社紹介



大和鋼機(株)

大和鋼機(株) 松本 大

弊社は昭和二十七年(1952年)故 松本福三郎によって創設され、本年(2012年)で創設六十年になりました。

創設当初は特殊鋼および各種機械の販売会社でありました。その後、旧日本特殊鋼

(現 大同特殊鋼)の依頼により、マグネット研磨加工を始め、現在の本社が建設された昭和三十五年(1960年)より金属材料の試験片加工を開始しました。

2012年現在、試験片加工に関しては創設当初より扱っており、特殊鋼以外でも、チタン合金をはじめとする新素材、超耐熱鋼等の難削素材の割合も年々多くなっております。

また、お客様も大田区近郊にとどまらず、茨城県をはじめ、岐阜県や山形県等様々な都道府県より注文をいただいております。弊社は試験片の加工のみに特化するだけでなく、試験片に対するアドバイスや材料試験場等の様々な質問にすぐに対応しております。

現在、弊社の社員は八名。世代交代が進み二〇代、三〇代の社員がふえてまいりました。社長、会長からのマンツーマンによる技術指導だけでなく、各自が「東京はたらこネット」等のキャリアアップ講習を受講するなど自己啓発もすすめております。

ここで弊社の今後の経営方針を述べさせていただきます。弊社は試験片加工の重要なポイントとして技術精度、納期、識別の三本柱に注力してきました。

今後は現状に満足するだけでなく、ホームページの開所存であり、営業活動の強化による新規顧客の開拓を行うニーズに応えられるよう、さらなる努力をまいります。

また、社内の安全教育を充実させ、今後も無事故・無災害を継続していきたいと思っております。環境問題にしましては近隣の皆様および隣接の小学校の生徒皆様への一層の配慮を進めてまいります。

【編集後記】

新年明けましておめでとうございます。協会会員皆様にとって良き新年をお迎えされたこととお慶び申し上げます。

▼暦の上では、一月六日は二十四節気の一つ、小寒(旧暦十一月二十五日)にあたり、この日から寒の入り、寒さも本格的に!!一月二十一日の大寒に至っては(旧暦十二月十日)、一年の中で最も寒い時期といわれます。反面太陽の日差しは少しずつ力強さを増し、春の気配が感じられるようになり立春へと季節は変わっていく時期でもあります。

▼依然として、国内情勢は長引く円高、消費が伸びず将来への不安連鎖を招くデフレ経済脱却への兆候がみえます。果たして、不安なき国民生活の将来に希望が持てる日が来るのでしょうか。昨年前半こそ、東日本大震災復興需要や政府工コカー補助金効果で全般的に景気上方修正されたかのように感じ取れましたが、欧州経済の回復の遅れと尖閣諸島・竹島に係る領土問題により中韓両国との関係悪化が取り沙汰され日本経済の足かせになったことは否めないこととしよう。

▼唯一昨年、京大、山中教授による「iPS細胞の作製研究成果がノーベル医学・生理学賞に受賞されました。栄誉を称え、心から喜ぶことができました。皆さんも同じ気持ちを抱いたこととしよう。今後、新薬開発、新治療法等医療分野への応用に高い期待が寄せられ、新産業の育成や企業活動が活発化し雇用創出に繋がっていくこと期待したいものです。

▼わが国中小企業ものづくりの技術力は、国内外あらゆる分野にて活かされ、高く評価されております。

話題を一つ、自社究極と称する製品・技術を互いに対戦・披露する某テレビ局での「ほこたて」という放映番組がありますが、「中小企業ものづくりへの執念、こだわり」、「ものづくりにかける意気込み」に強い感銘を受けることが多く、私にとっては興味深く視聴している番組ですが、皆さんもご覧になっているかも知れませんね!「製品は企業の顔、製品は独自の営業」と感じるところです。

▼協会では、年二回会報発行しています。会報を利用しての会員企業の紹介や会員相互の親睦、会員同士のメリットを語るうえで重要な情報媒体と位置づけています。会員企業の積極的な投稿、活用を心より望んでいるところです。

今後とも、協会では会員企業の存在価値を高め、業界の発展に寄与していかねばならないと考えおります。会員企業の皆様には本年も宜しくお願ひ申し上げます。